

原子力産業新聞

2014年7月3日
 平成26年(第2725号)
 毎週木曜日発行
 購読料1年前前金(消費税、国内送料込)
 会 員 9,500円(1部220円)
 非会 員 15,000円(1部350円)
 (当会会費は年会費13万円に本紙購読料の9,500円を含む。1口1部)

発行所 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1丁目2番8号 虎ノ門琴平タワー9階 郵便振替 00150-5-5895
 電話 03(6812)7103 FAX03(6812)7110 ホームページ http://www.jaif.or.jp/ メールアドレス shinbun@jaif.or.jp

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

安定電源としての原子力ゼロ 厳しい電力事情続く

再稼働求める声 3%状態 予備率

新規制基準の審査の先行きが見えないなかで、安定的な電源としての役割を担う原子力発電の供給ゼロ状態が続いたまま、夏季需要期を迎えることになった。

今夏の供給予備率は全体平均で3%と、事実上の綱渡り状態で、電力各社では火力設備をフル稼働させ、広域融通でやりくりする状況になっている。

資源エネルギー庁は、火力設備の点検確認を行ってトラブルなどがなことを確認。同時に、今夏需給対策として中西日本の電力各社(中部、関西、北陸、中国、四国、九州)に、予備力積み増しを要請し、合計五十五、三万kW分が確保された。このうち、特に需給の厳しい関西電力と九州電力の積み増しは四十三・四万kWと大部分を占めており、いずれも、東日本から融通しなくても予備率3%を確保できるような要請を行った。

早急な原子力の再稼働求める 九経連など

九州経済連合会他、九州地方の経済四団体は六月二十六日、連名で、今夏の厳しい電力需給状況から、産業・生活への影響を憂慮し、安全性の確保を大前提に、川内と玄海の原子力発電所の早急な再稼働を求める要望書を関係省庁に提出した。

要望書では、原子力発電所再稼働の見通しが立たないなかで、今夏の電力需給の逼迫を懸念し、また地域経済への悪影響が懸念され、企業は五割を超え、値上げ分を転嫁できないと回答した企業は六割を超えたとがわかった。

原子力ゼロの影響が企業活動に確実に悪影響を与えており、また地域経済への悪影響が続くこと、に危機感を抱く地域の経済団体や自治体などから、原子力発電の早急な再稼働を求める声が政府に寄せられている。

力事情は、九州地方の供給予備率3%と、老朽火力発電所の稼働や東日本地域からの融通に依存しており、「昨夏より大変厳しい需給状況」との認識を示した上で、九州経済界として、現在、原子力規制委員会が審査中の川内と玄海の原子力発電所について、審査の最大の迅速化と、審査結果と再稼働の必要性に関する丁寧な説明に努めるよう求めている。

九州経済連合会は五月にも、関西経済連合会とともに、審査の効率化を求め原子力規制委員会を訪問している。

原産協会が事務局の組織変更

7月1日から、原産協会は七月一日付で、事務局内組織の改編を行った。経営理念に基づき、協会全体の運営にともな、審査の効率化を求め原子力規制委員会を訪問している。

日米の原子力協力合が進展

羽島隆・外務省不拡散・科学原子力課長は六月十七日の原子力委員会、同十二日に東京で開かれた民生用原子力協力に関する日米二国間委員会第三回会合の結果概要を報告した。

日本原燃、新社長に工藤副社長

日本原燃は六月三十日の株主総会で、川井吉彦社長の後任として、工藤健二副社長の就任を正式決定した。

那須翔元東京電力会長が死去

東京電力の元会長で経済団体連合会の副会長も務めた那須翔(なす・しょう)氏が六月二十五日、都内の病院で死去した。享年八十九歳。

那須氏は、〇〇年の原子力長期計画策定会議で座長を務めるなど、科学技術・エネルギー行政の推進に貢献。〇二年に勲一等瑞宝章を受章した。

学会新会長に藤田氏

事故の教訓「規制委に進言する機会」も

日本原子力学会の新会長に就任した藤田玲子氏(東芝電力・社会システム)が六月二十五日、同学会本部(東京・港区)で記者会見を行った。

藤田氏は、学会の福島第一原子力発電所事故に関する調査委員会が三月



藤田玲子氏(右)が六月二十五日、同学会本部(東京・港区)で記者会見を行った。

「減らす」と回答した企業は五割を超え、値上げ分を転嫁できないと回答した企業は六割を超えたとがわかった。

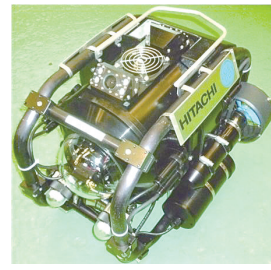
原子力ゼロの影響が企業活動に確実に悪影響を与えており、また地域経済への悪影響が続くこと、に危機感を抱く地域の経済団体や自治体などから、原子力発電の早急な再稼働を求める声が政府に寄せられている。

力事情は、九州地方の供給予備率3%と、老朽火力発電所の稼働や東日本地域からの融通に依存しており、「昨夏より大変厳しい需給状況」との認識を示した上で、九州経済界として、現在、原子力規制委員会が審査中の川内と玄海の原子力発電所について、審査の最大の迅速化と、審査結果と再稼働の必要性に関する丁寧な説明に努めるよう求めている。

九州経済連合会は五月にも、関西経済連合会とともに、審査の効率化を求め原子力規制委員会を訪問している。

ロボットの格納容器漏えい箇所特定

東京電力は六月二十四日、格納容器漏えい箇所の特定と補修に関する技術を研究開発するため開発中のトラス室壁面調査装置の実証試験を行うことを明らかにした。福島第一・2号機のトラス室壁面(東壁面北側)を対象に、カメラ映像を得るための水中遊泳ロボット(写真、超音波ソナーによるドップラ計測画像を得るための床面走行ロボットの二つの装置の性能を約一か月かけて実証する。水中遊泳ロボットはトラス室東壁面北側建屋貫通部(五箇所)の状況や滞留水の流れの有無をカメラ撮影し画像を確認する。床面走行口



東京電力は六月二十四日、格納容器漏えい箇所の特定と補修に関する技術を研究開発するため開発中のトラス室壁面調査装置の実証試験を行うことを明らかにした。福島第一・2号機のトラス室壁面(東壁面北側)を対象に、カメラ映像を得るための水中遊泳ロボット(写真、超音波ソナーによるドップラ計測画像を得るための床面走行ロボットの二つの装置の性能を約一か月かけて実証する。水中遊泳ロボットはトラス室東壁面北側建屋貫通部(五箇所)の状況や滞留水の流れの有無をカメラ撮影し画像を確認する。床面走行口

この一週間の出来事

- (26日(木)～2日(水))
- 電力各社、株主総会開催(26日)
- 13年度文部科学白書が公表(27日)
- 集団的自衛権の憲法解釈が閣議決定(1日)

原産新聞の紙面から

- ◇国内ニュース
 - NUMO新体制、理事長に近藤駿介氏(2面)
 - 独脱原発からエネ政策を考えるシンポ(2面)
 - 植物細胞内のセシウム分布を可視化(4面)
 - ITER高性能超伝導導体が初完成(4面)
- ◇海外ニュース
 - 米監査院、次世代炉の原型炉建設勧告(3面)
 - フィンランドの処分場建設審査に遅れ(3面)
 - 東芝、NuGen社の関連取引を完了(3面)

私たちはエコな暮らしと
エコな社会をつくっていきます。

商品で、技術で、モノづくりで。
エコな暮らしのスタイルと、エコな社会のスタイルを
創造していく。それが東芝のecoスタイルです。

eco スタイル

この星のエネルギーとエコロジーのために。東芝

TOSHIBA
Leading Innovation